

「2023年新春のつどい」盛大に開催!

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

1月28日、奥州市文化会館中ホールで、「日本共産党奥州市委員会主催」が盛大に開催されました。前参議院議員の大門実紀史さんをお迎えしての3年ぶりの開催ですが、多くの党員や市民の皆さんに参加いただきありがとうございました。



締めくくりの“団結ガンパロー” 大門実紀史前参議院議員(中央)と県・市議団



川西大念仏剣舞

オープニングは、衣川の川西大念仏剣舞保存会の皆さんによる、勇壮な剣舞(右写真)で始まりました。

そして、千田みつ子県議が、県政報告、大門実紀史前参議院議員が、岸田自公政権の大軍拡政治について、「お金」の流れから解説し、「新自由主義を転換しやさしく強い経済へ」転換しようと訴えました。

千田みつ子県議「平和を子どもたちに渡したい！」



千田みつ子県議
千田みつ子県議は、新型コロナウイルス感染症の「2類」から「5類」に引き下げられる問題にかかわり、県立中央病院の院長は、「感染病床」だけでは足りず一般病床でも対応している実態を訴え、ある高齢者施設の施設長は、酸素飽和度が70%から60%に下がった入居者の入院を要請し、「手のかかる高齢者

は看取りを考えてほしい」と言われ、その入居者が亡くなったとの訴えがあったことを紹介した次のように述べました。

「5類」への引き下げが、県民への誤ったメッセージとなり感染拡大を引き起こすことのないよう、そして、世界第3位の大軍拡を許さず「子どもたちに平和な社会を」引き渡すため、この地域でお産ができるようにし、物価高騰のなかで暮らし・農業を守るために全力を尽くすと決意を表明しました。

**党を大きくして
県議選勝利を!**

大門実紀史前参議院議員は、「岸田内閣の大軍拡」を経済からみるとその本質はよく解るとして次のようにのべました。
「GDP 2%は2021年の衆議院選挙で自民党の政策に目立

1月26日の議員全員協議会で市長が説明

黒滝・国見平両温泉、

5年継続運営の方針

菅原明議員は、民間移譲を前提に指定管理での運営をする事業者がない時は、黒滝温泉及び国見平温泉を休止するとしている問題について、昨年12月議会でも、更に運営継続に向けて努力することを求めています。関係住民の皆さんの存続に向けた署名運動もあり、令和5年度も



大門実紀史前参議院議員
たないように掲げられたもの」で、アメリカから兵器を爆買い

する5兆円という予算だけでは日本の軍需産業が衰退する。アメリカから爆買いする予算を削るわけにはいかないから別途日本の軍需産業(経団連の中枢を占めている)育成のため予算を確保しようとするもので、ウクライナの戦争などは後付けされた理由でしかない。アメリカ言いなり、財界言いなりの政治そのものと告発。

また、アメリカとの「集団的自衛権」のもと、軍事拡張を進めれば、意図しない軍事衝突から戦争に発展しかねないと強調しました。

今年は、平和と経済にとって大変重要な年なので、党を大きくして、「必ず県議選で勝利しよう」と呼びかけました。

継続運営する方針が示されました。

正法寺・黒石寺の休憩所も

継続方針

佐藤美雪議員は、昨年9月の決算審査特別委員会で正法寺及び黒石寺の休憩所について、水沢の名所として重要な施設であり、休憩所を廃止せず継続することを求めています。この度、正法寺の休憩所は寺への移譲、黒石寺の休憩所は貸付の形で継続する方針が示されました。